

“きこえない映画監督” 今村彩子が
日本縦断の旅をして見えてきたものとは。

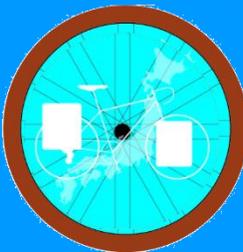


つな
がる
ため
に、

名東区制50周年記念

令和6年度名東区障がい啓発イベント

自転車日本縦断ロードムービー スタートライン

Start  Line

映画上映 & 今村彩子監督によるトークセッション

2024年

12月3日(火) 13:30~16:30

受付開始13:00より (入場無料)

名東文化小劇場

名古屋市名東区上社1丁目802上社ターミナルビル3階
アクセス：地下鉄東山線上社駅1番出口すぐ

日本語字幕付き
上映

当日先着300名
(事前申込不要)

手話通訳・要約筆記あり
(トークセッションのみ)

伝
え
た
い
ん
だ。



映画を見ている自分の顔が、
困った顔や、つらそうな顔、微笑んだ顔、
笑った顔など、いろんな顔に
なっていることに気がきました。

真崎 文明
〈株式会社モンベル 代表取締役社長〉

笑いも、怒りも、涙もすべて。
それは「ためらい」の連続であり、
そこには嘘飾りも脚色もない。

松森 果林
〈ユニバーサルデザインアドバイザー〉

答えを求めて旅に出た
今村監督の姿そのものが、
コミュニケーションとは何かを
指し示すひとつの答え。

瀬瀬 あや
〈映画監督/「祝の島」「ある精肉店のはなし」〉

今村さん、すごくいい人。ホントいい人。
映画としての正義と
人としての正義はなんなのか？
考えちゃいました。

平野 勝之
〈映画監督/「由美香」「監督失格」〉



カメラを回した時間
計349時間31分



自転車日本縦断ロードムービー スタートライン

Start Line

完走後の体重
私: +0.5kg
伴走者: -12kg



“聞こえない映画監督”今村彩子は2015年夏、自転車で日本縦断の旅に出る。

荒天、失敗に次ぐ失敗、“聞こえる人”とのコミュニケーションの壁に、
へこみ、涙し、それでもひたすら最北端の地に向けて走り続ける。
そんな彼女の姿を追うのは、伴走者にしてカメラ撮影を担う“哲さん”。

「コミュニケーションを、あなた自身が切っている！」

相手を想うがゆえの容赦のない言葉に、一触即発の危機が訪れる…。

そして、聴力を失ったサイクリスト、ウィルとの奇跡的な出会い。

はたして彼女はどんな答えを見つけるのか？ 人生の旅そのものの3,824km。

ニッポン中のためらう人に観てほしい、一篇の勇気のおすそわけです。

出会った人の数

約300人



日本No.1クラウドファンディング



監督 今村 彩子

Studio AYA代表/名古屋市出身

大学在籍中に渡米し、映画制作を学ぶ。
「架け橋 きこえなかった3.11」(2013)は、
ドイツの日本映画専門映画祭で
ニッポンビジョン部門 観客賞を受賞。
「珈琲とエンピツ」(2011)のCMは
第48回ギャラクシー賞CM部門に入賞する。

主催



名東区役所

つながる、
ここにある、
みんなのまち。

名東区自立支援連絡協議会

お問合せ先

名東区障害者基幹相談支援センター

TEL 052-739-7524 FAX 052-739-5330

